

# 図書だより

第29号

2018. 2. 26

福島県立只見高等学校  
図書部



学年末考査も終わって、思いっきり読書を楽しみましょう。

もうすぐ卒業式、立派な卒業式になるために在校生の皆さんの力が必要です。がんばりましょう。

## 読書は心豊かな人を作る

(フランシス・ベーコン 1561~1626 イギリスの哲学者・政治学者)

### ■新しく入った本

#### 『星座の図鑑』

沼澤茂美 誠文堂新光社

星座の探し方と神話がわかると、夜空も楽しい。  
四季の星空を美しい写真で紹介しています。  
♪見上げてごらん 夜の星を～

#### 『生きて、もっと歌いたい』

芳垣文子 朝日新聞出版

18歳2ヶ月で亡くなった、片足のアイドル・木村唯さん。ガンと闘いながら歌うことを諦めなかった。その軌跡。

#### 『安全な食材は自分でえらぶ』

野本健司 河出書房新社

安全な食生活を目指すために今すぐ出来ること。  
それは知識を持って自分の目線で食材を選ぶこと。

#### 『データで見る太平洋戦争』

高橋昌紀 毎日新聞出版

- ・特攻の命中率11%、9機に1機。
- ・大和の建造費は国家予算の4%、主砲が火を噴いたのは1回。
- ・戦死者の6割は、餓死・戦病死。 など

#### 『銀河鉄道の父』

門井慶喜 講談社

父でありすぎる父親が、宮沢賢治に注いだ無情の愛。感動の「親子」小説。  
第158回直木賞受賞作。

朝読にピッタリ 5分シリーズ  
『五分間で心にしみるストーリー』  
『5分後に後味の悪いラスト』  
『5分後に感動のラスト』

エブリスタ 河出書房新社

#### 『歴史に「何を」学ぶのか』

半藤一利 ちくまプリマー新書

天皇はなぜ退位を望んだのか。  
戦前の昭和史と現代、何が似ているのか。  
歴史を知ることの面白さと大切さを学ぶ。

#### 『図説 日中戦争』

森山康平 河出書房新社

盧溝橋事件から81年目！ 日中戦争はいかに始まり、熾烈な泥沼の戦いを経て、いかに終わったか。そのすべてをこの一冊で知る。

#### 『死刑捏造』

藤原聡外 筑摩書房

自分が無実の罪で逮捕され、裁判で死刑判決を受けたら…。想像するだけで恐ろしい。最高裁死刑判決後に無罪が確定した松山事件。警察による証拠捏造の恐るべき実態。元死刑囚の人生。

#### 『出会いなおし』

森 絵都 文藝春秋

出会い、別れ、再開、また別れ……。人は会うたびに知らない顔を見せ、立体的になる。人生の大切な場面が詰まった六つの物語。

わが声もまじりて卒業歌は高し

寺山修司